

## 2022年度学校評価

		評価対象	A	B	C	D	スコア
楽しい学校	保護者	児童	71.9%	20.2%	6.1%	1.8%	92.1%
	児童	自分	61.1%	29.0%	6.9%	3.1%	90.1%
	教職員	児童	17.6%	82.4%	0.0%	0.0%	100.0%
知力の伸長	保護者	児童	48.2%	44.7%	5.3%	1.8%	92.9%
	児童	自分	44.7%	45.5%	7.6%	2.3%	90.2%
	教職員	児童	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	100.0%
体力の伸長	保護者	児童	28.9%	47.4%	19.3%	4.4%	76.3%
	児童	自分	61.8%	24.4%	9.9%	3.8%	86.2%
	教職員	児童	17.6%	64.7%	0.0%	0.0%	82.3%
心力の伸長	保護者	児童	41.2%	49.1%	7.0%	2.6%	90.3%
	児童	自分	46.6%	42.7%	9.2%	1.5%	89.3%
	教職員	児童	29.4%	35.3%	29.4%	5.9%	64.7%
友人関係	保護者	児童	51.8%	35.1%	10.5%	2.6%	86.9%
	児童	自分	51.1%	32.8%	10.7%	5.3%	83.9%
	教職員	児童	5.9%	88.2%	5.9%	0.0%	94.1%
挨拶	保護者	児童	31.6%	51.8%	14.9%	1.8%	83.4%
	児童	自分	48.9%	35.1%	13.0%	3.1%	84.0%
	教職員	児童	11.8%	35.3%	52.9%	0.0%	47.1%
早寝早起き	保護者	児童	33.3%	34.2%	22.8%	9.6%	67.5%
	児童	自分	23.3%	34.9%	20.9%	20.9%	58.2%
	教職員						
朝ごはん	保護者	児童	90.4%	5.3%	2.6%	1.8%	95.7%
	児童	自分	72.5%	17.6%	6.1%	3.8%	90.1%
	教職員						
授業外学習への取り組み	保護者	児童	49.1%	33.3%	15.8%	1.8%	82.4%
	児童	自分	42.0%	44.3%	9.2%	4.6%	86.3%
	教職員	児童	17.6%	47.1%	35.3%	0.0%	64.7%
家庭への情報発信	保護者	学校	52.6%	33.3%	15.8%	1.8%	85.9%
	児童						
	教職員	学校	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	100.0%
相談への真摯な対応	保護者	学校	58.8%	28.1%	7.9%	5.3%	86.9%
	児童						
	教職員	学校	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	100.0%
健康と安全を守る活動	保護者	学校	61.4%	32.5%	4.4%	1.8%	93.9%
	児童※	学校	70.2%	20.6%	6.9%	2.3%	90.8%
	教職員	学校	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	100.0%
施設設備と環境美化	保護者	学校	79.8%	16.7%	1.8%	1.8%	96.5%
	児童	学校	58.8%	25.2%	12.2%	3.8%	84.0%
	教職員	学校	41.2%	47.1%	11.8%	0.0%	88.3%
個への対応	保護者	学校	50.9%	31.6%	11.4%	6.1%	82.5%
	児童	先生	62.6%	21.4%	9.2%	6.9%	84.0%
	教職員	学校	35.3%	41.2%	23.5%	0.0%	76.5%
アフタースクール	保護者	学校	33.3%	36.8%	22.8%	7.0%	70.1%
	児童	学校	64.6%	16.9%	10.0%	8.5%	81.5%
	教職員						

※保護者、児童、教職員を対象に、各項目4段階の評価アンケートを実施した。

※上位2つの肯定的評価の合計を「スコア」と呼ぶこととし、主として保護者と児童のスコアについて述べる。

・「楽しい学校」について、保護者、児童ともにスコアが90%を超えている。昨年度より最高学年が1つ上がった中、児童スコアが昨年度よりアップした。一方で保護者スコアは昨年度よりダウン。学年に応じた「ワクワク」のあり方を追求し、雰囲気づくり、取り組みや状況についての情報発信に努力しなければならない。

・「友人関係」は保護者、児童ともにスコアが90%を下回り、昨年度もともにダウンしている。最高学年の引き上がりによる影響もあるが、児童一人ひとりの細かな変化に気を配った個への声掛けやクラス・学年での学びを通じ、自己肯定感を高め、多様な個性を受け入れるコミュニケーションスキルを身につけさせるべく、日々の指導を充実させていきたい。

・「心力の伸長」「挨拶」「授業外学習への取り組み」の3項目について、教職員スコアが保護者・児童スコアに対して大きく下回っている。教員が自分の指導を振り返った時に反省点が多い、という他に、どの程度を目標とするのか、保護者・児童・教職員の3者の間に差異が存在すると思われる。子ども達に「こうあるべき、こうあってほしい姿・目標」を示し、そこに向かって主体的に取り組めるような指導体制をとっていきたい。

・「個への対応」の保護者・児童スコアが昨年よりさらにダウンした。「公・集団」としての教育、その中で提供できるサービスとの整合性もとりつつ、「私立」「少人数」への期待は主としてこの部分にあることを今一度認識し、期待に応えられるよう、児童・家庭に寄り添ったきめ細かい指導を目指し、努力を続けていく。